公益財団法人東海村文化･スポーツ振興財団　令和4年度事業報告書

当財団は、東海村における文化事業及びスポーツ事業に対する推進支援等をすることにより、文化・スポーツの振興と発展並びに健康で心豊かなまちづくりとうるおいのある地域社会の創造に寄与するために、文化・スポーツ振興に資する各種事業を実施いたしました。

公益目的事業１　東海文化センターにおける文化芸術振興事業

１．施設の管理運営

東海村から指定管理を受ける東海文化センターの予約管理及び施設の維持・保守点検を行いました。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手指消毒液の設置や定期的な換気・消毒作業の実施、マスク着用を促す掲示物の掲出など基本的な感染防止対策を継続しつつ、利用者には本施設の感染拡大防止ガイドラインを踏まえた利用ルール・方法を提案し、ともに対策を実践し、安全･安心に施設を利用いただくための環境づくりを行いました。併せて、施設の老朽化への対応が課題となる中、継続的かつ計画的な修繕更新等に取り組むため、所管課と連携し、修繕計画策定と情報共有を図りました。
今後も良好な施設・設備の維持と長寿命化に向け、東海村との協議を進めてまいります。

（１）利用実績

	令和４年度			前年度		
	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)
ホール	246	26,177	88.5	162	13,604	64.0
大会議室	203	8,468	91.3	214	5,767	81.0
会議室１	17	341		26	355	
会議室２	32	334		36	429	
和室	65	230	23.6	55	118	20.8
使用料※	3,537,620 円			1,476,620 円		

※施設使用料は全額東海村へ納付

（２）維持管理運営及び環境整備

令和４年度については、コロナ禍における各種ガイドラインに基づく利用制限は残るものの、臨時休館や催事の中止はなく、利用人数、利用率ともに回復傾向が見られました。
設備の維持管理においては、舞台照明装置の部品交換を行うことで長寿命化を図るとともに、かねてより老朽化が指摘されていた受変電設備を更新し、屋外キュービクルへの移設を行いました。

２．文化自主事業

（１）鑑賞事業（４事業１１公演）

感染症の規制緩和に応じて、客席収容率の制限を徐々に100%に戻しながら事業を開催することができました。

共催事業「げんでん ふれあいコンサート『ふるさと帰省ライブ』」、「げんでん ふれあい文化講演会『夏井いつき句会ライブ』」では、（公財）げんでん ふれあい茨城財団の助成により安価な入場料または無料で公演を提供することができ、多くの住民が文化事業を楽しむきっかけづくりとなりました。『さかなクンのぎょぎょっとびっくりおさかなの話』『夏井いつき句会ライブ』については、有効座席数完売となる入場者を獲得することができ、感染症の影響によるイベント来場の自粛傾向も改善に向かっていることが感じられました。恒例の映画上映会『東海ワンコイン劇場』では、幅広い年齢層を対象にした作品選定を行い、家族連れを含む来場促進を図りました。

また、全ての事業において、令和４年度に限って新型コロナウイルス感染症に起因するチケットの払い戻しに対応することで、イベントや外出に対する抵抗や不安を軽減し、気軽に文化事業に参加できる環境整備を図りました。

（２）文化活動の支援及び普及・育成事業（８事業７公演）

ホール設置のグランドピアノを個人練習用に開放する『グランドピアノ開放事業』、東海村にゆかりのあるアーティストを地域に紹介する『東海村のアーティストをご紹介するコンサート』、地域のピアノ愛好者による発表会『ピアノマラソンコンサート』のほか、村産業・情報プラザを会場とするアウトリーチ事業『バギーのままコンサートスペシャル』『Tokai Jazz Night』、村総合福祉センター「絆」を会場とした『バギーのままコンサート』を開催しました。『Tokai Jazz Night』においては、コロナ禍において自粛していた飲料の提供をアルコールを除くかたちで再開したほか、『バギーのままコンサートスペシャル』では、消毒を徹底した上で楽器に触れるコーナーを設け、公演鑑賞を楽しむ空間や雰囲気づくり、出演者との交流や興味関心の促進を図りました。

また、地域で活動する文化団体や音楽家が東海文化センターで初めての公演を開催するにあたり、共催事業として施設の利用、感染症対策、チケットの販売や広報、当日の運営協力を行い、施設及び地域団体の活動の活性化を図りました。

（３）村内の文化団体との連携・協働

事務局を司る東海村文化協会では、芸術祭や夏休み子ども作品教室、会員研修など、全ての事業を予定どおり開催することができました。また、50 周年を迎えた文化祭では、記念事業としてマルシェやスタンプラリー、記念アトラクション等を開催し、多くの地域住民が文化を介して集う場を提供しました。設立 40 年を迎えた東海村少年少女合唱団は、感染症対策を行いながら通年で練習を継続することができ、年度末には集大成として記念公演を開催しました。

活動の支援を行う東海村吹奏楽団と劇団とみかるにおいても、客席収容数を前年度よりも増やした状態で公演を開催し、多くの来場者を獲得したほか、地域からの依頼演奏など活動の機会も徐々に戻りつつあります。

＜令和４年度文化自主事業一覧＞

	事業名		公演日	会場	来場者
鑑賞事業	げんでん ふれあいコンサート 「ふるさと帰省ライブ」		1/9(月祝)	東海文化センター	604 名
	さかなクンのぎょぎょっとびっくりおさかなの話		1/14(土)	東海文化センター	774 名
	げんでん ふれあい文化講演会 「夏井いつき句会ライブ」		2/18(土)	東海文化センター	788 名
	東海 ワンコイン劇場	「名探偵コナン」 「ドライブ・マイ・カー」	8/20(土)	東海文化センター	449 名
		「すみっコぐらし」 「老後の資金がありません」	9/10(土)	東海文化センター	504 名
		「大洗にも星は降るなり」 「シン・ウルトラマン」	12/24(土)	東海文化センター	81 名
		「ドラえもん 」 「百花」	1/21(土)	東海文化センター	439 名
普及・育成事業	バギーのままコンサート Vol.11 ロゼ＆ノワール		7/9(土)	総合福祉センター	46 名
	Tokai Jazz Night in iVil 小林鈴勘(尺八)、若井優也(ピアノ)、楠井五月(ベース)		7/22(金)	産業・情報プラザ	119 名
	第 6 回東海村ピアノマラソンコンサート		10/2(日)	東海文化センター	出演 59 組 来場 452 名
	東海村のアーティストをご紹介するコンサート Vol.8 照沼夢輝(クラリネット)		1/22(日)	東海文化センター	294 名
	バギーのままコンサートスペシャル Joy Swing Company		3/4(土)	産業・情報プラザ	112 名
	グランドピアノ開放		通年 (全 32 日間)	東海文化センター	延 314 名
共催事業	山蔦シュン・すいたんすいこうジョイントコンサート		10/8(土)	東海文化センター	181 名
	東海太鼓保存会 30 周年記念公演		2/12(日)	東海文化センター	484 名

公益目的事業２　駅コミュニティ施設における文化芸術振興事業

１．施設の管理運営

東海村から指定管理を受ける東海駅コミュニティ施設の予約管理及び維持・保守点検を行いました。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手指消毒液の設置や定期的な換気・消毒作業の実施、マスク着用を促す掲示物の掲出など基本的な感染防止対策を継続し、安全・安心に施設を利用いただくための環境づくりを行いました。
併せて、継続的かつ計画的な修繕更新等に取り組むため、所管課と連携し、修繕計画策定と情報共有を図りました。
今後も良好な施設・設備の維持と長寿命化に向け、東海村との協議を進めてまいります。

（１）利用実績

	令和４年度			前年度		
	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)
ギャラリーA	303	13,930	84.6	249	12,016	75.0
ギャラリーB	106	5,041	29.6	96	5,238	28.9
使用料※	882,000 円			514,000 円		

※施設使用料は全額東海村へ納付

（２）維持管理運営及び環境整備

5 月に西口トイレの排水不全が発生し施設利用者には不便をおかけしましたが、仮設トイレの設置及び原因究明、修繕工事まで、東海村との連携により迅速に対応を行いました。

昇降機については、計画的な維持管理の一環として、設置から 25 年超を迎えた西口エスカレーターの更新工事を行いました。また、11 月にはＪＲ東海駅の防犯訓練に参加し、非常時における駅との連携及び施設利用者の安全確保を確認しました。

今後とも、東海駅に併設された施設特性を考慮し、ギャラリー及び駅利用者が快適に利用できる施設整備に努めて参ります。

２．ギャラリー自主事業

（１）鑑賞事業（２事業）

茨城県を拠点に活躍する絵画作家１６名を紹介する企画展『美術は今』を開催し、様々な会派から多様な表現を紹介しました。会期中には出品者によるギャラリートークを開催し、鑑賞や理解の促進を図りました。また、東海村にゆかりのあるチョークアート作家・大森みき子氏とイラストレーター・東堂優氏の二人展を通してビジュアルアートを紹介するとともに、技法体験のワークショップを行うことで、身近に創作を楽しむ機会を提供しました。

（２）芸術活動の支援及び普及・育成事業（１１事業）

毎年恒例の企画展『芸大・茨大・筑波大卒業修了制作選抜展』『とうかいきっずミュージアム』『東海村の作家展』に加え、空き区分を有効活用して地域の学生に発表機会を提供する『ギャラリー開放事業』では、公募により県立水戸一高美術部の展覧会を開催しました。

また、小学生を対象にした創作実技体験『東海村アート』『リボーン・アートボール』『金属ワークショップ』を開催し、地域の子どもたちに様々な画材や表現を楽しむ機会を提供しました。『土田ヒロミ 撮影ワークショップ写真展』では、東海駅西口再開発をテーマにした定点撮影の成果発表を行い、講師・土田ヒロミ氏との合同展示により村内写真愛好家の技法向上や活動の活性化を図りました。村内中学校３年生を対象に実施した『黒板ジャック』では、生徒と作者である美大生がオンラインで交流し、作品を介した対話によるキャリア教育を目指しました。

＜令和４年度ギャラリー自主事業一覧＞

	事業名	開催日	会場	来場者 (参加者)
鑑賞事業	美術は今～対峙する 16 の画面 Vol.4	11/13(日)～26(土)	ギャラリーA	784 名
	東海村郷土作家シリーズ 「二つの色彩～大森みき子×東堂優」	10/9(日)～15(土)	ギャラリーAB	536 名
普及・育成事業	芸大･茨大･筑波大卒業修了制作 選抜展 2022	4/24(日)～5/7(土)	ギャラリーA	401 名
	とうかいきっずミュージアム 2022	7/31(日)～8/20(土)	ギャラリーAB	4,835 名
	東海村の作家展 2023	1/8(日)～21(土)	ギャラリーA	454 名
	土田ヒロミ 撮影ワークショップ写真展	12/18(日)～26(月)	ギャラリーA	214 名
	ワークショップ「東海村アート 2022」	7/16(土)	東海駅自由通路	58 名
	金属ワークショップ 2022	7/9(土)・23（土)	ギャラリーB	22 名
	ワークショップ 「リボーン･アートボール」	①6/4（土) ②8/3（水) ③8/4（木)	①総合福祉センター ②石神学童 ③白方学童	①14 名 ②58 名 ③96 名
	黒板ジャック 2023	①2/12(日)・13(月) ②2/19(日)・20(月)	①東海南中学校 ②東海中学校	－
	芸大･茨大･筑波大卒業修了制作 選抜展 2023 作品選定	令和 5 年 1～3 月	※各大学研究室への 推薦依頼により選定	－
	ギャラリー開放事業 「水戸一高美術部展」	1/29(日)～2/4(土)	ギャラリーA	－
	野外彫刻維持管理事業	通年	村内各地	－

公益目的事業３　スポーツ施設におけるスポーツ振興事業

１．施設の管理運営

東海村から指定管理を受けるスポーツ施設（総合体育館、テニスコート、久慈川河川敷運動場、東海南中夜間照明グランド、スイミングプラザ）の予約管理及び施設の維持・保守点検を行いました。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手指消毒液の設置や定期的な換気・消毒作業の実施、マスク着用を促す掲示物の掲出など、基本的な感染防止対策を継続し、安全・安心に施設を利用いただくための環境づくりを行いました。
併せて、継続的かつ計画的な修繕更新等に取り組むため、所管課と連携し、修繕計画策定と情報共有を図りました。
今後も良好な施設・設備の維持と長寿命化に向け、東海村との協議を進めてまいります。

（１）利用実績

総合体育館

	令和４年度			前年度		
	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)
ﾒｲﾝｺｰﾄ	265	40,961	86.0	272	40,131	100.0
ｻﾌﾞｺｰﾄ	300	23,803	98.0	269	14,186	99.0
柔剣道場	307	29,695	100.0	263	20,808	97.0
弓道場	307	9,372	100.0	270	7,178	99.0
ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室	296	7,081	96.0	265	6,374	97.0
使用料※	3,230,370 円			2,849,000 円		

※施設使用料は全額東海村へ納付

その他スポーツ施設

	令和４年度			前年度		
	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)
外宿グランド	40	2,327	13.0	12	270	5.0
内宿グランド	115	12,052	37.0	60	4,220	24.0
多目的ｸﾞﾗﾝﾄﾞ	3	319	1.0	－	－	－
テニスコート	303	77,835	99.0	226	74,463	97.0
ｽｲﾐﾝｸﾞﾌﾟﾗｻﾞ	73	31,433	96.0	26	1,721	54.0
南中グランド	113	5,273	37.0	63	3,783	26.0
使用料※	6,752,900 円			3,287,400 円		

※施設使用料は全額東海村へ納付

（２）維持管理運営及び環境整備

感染症の影響により前年度は大幅な制限を設けて開園したスイミングプラザについて、令和 4 年度は一部の入場制限を残しつつ一般に開放することができ、多くの来場者を得ることができました。また、久慈川河川敷運動場に新しく整備された多目的グランドが５月から供用開始となりました。整地に課題が残りますが、グランドゴルフの練習やニュースポーツ、自治会運動会等での利用促進に向けて周知を図ってまいります。

総合体育館においては、経年劣化が指摘されていたメインコート防球ネットの更新及びサブコート防球ガードの塗り直しを、コート利用休止の措置を取りながら実施しました。

２．スポーツ自主事業

（１）各種スポーツ教室（１０事業）

競技体験のきっかけづくりや生涯スポーツの普及を目的に、スポーツ協会加盟連盟や地域スポーツ団体との連携により開催する『チャレンジスクール』については、連携団体と協議して感染症対策を講じながら、予定していた９競技を実施することができました。

また、効果的なトレーニング方法や機器の正しい取扱い方法を習得する機会として通年開催する『トレーニング基礎講座』についても通年（隔月開催／年間６回）で開催することができました。

（２）スポーツ活動の支援及び育成事業（６事業）

継続事業『ニュースポーツ普及事業』に加え、村内でホッケー競技に取り組む青少年を対象に国内プロ選手を招聘して行う『ホッケークリニック』を予定どおり開催することができました。また、全国大会で活躍した村内中学校弓道部の功績を地域に紹介し、その技を披露する『弓道演武披露会』や、プロ選手とのふれあいを通して競技の振興を図る『げんでん　ふれあいバスケット教室』を共催事業として開催し、村内の青少年の技能及び意欲の向上を図りました。2回目を迎えた東海村からの委託事業『スポーツフェスタ』では、新たな試みとして東海文化センターでの講演会を取り入れたほか、『スポーツクライミング普及事業』の一環による体験ブースの開設など、2日間にわたりスポーツ活動の推進を図りました。

（３）村内のスポーツ団体との連携・協働

村スポーツ協会およびスポーツ少年団、東海村マラソン大会実行委員会の事務局として、年間を通して各活動の中核的な役割を果たしました。『東海村スマイルマラソン』は、笠松運動公園を会場とし、３年ぶりに開催することができました。

また、東海村で活動する総合型地域スポーツクラブ スマイル東海に対し、事務局業務や各教室の対応、クラブの組織運営に携わり、NPO法人化に向けた全面的な支援・協力を行いました。

＜令和４年度　スポーツ事業一覧＞

事業名		開催日	会場	参加者
チャレンジスクール	弓道の部	5/21(土)～6/26(日) 全10回	総合体育館	31名
	卓球の部	一般 6/7(火)～24(金) 小学生 6/4(土)～7/16(土) 各全6回	総合体育館	計35名
	ゴルフの部	8/21(日)～10/16(日) 全8回	東海ゴルフ	11名
	ソフトボールの部	8/27(土)～10/1(土) 全4回	東海南中グランド	23名
	スポーツウエルネス吹矢の部	9/3(土)～10/1(土) 全6回	総合体育館	20名
	剣道の部	9/4(日)～10/16(日) 全6回	総合体育館	15名
	合気道の部	9/10(土)～10/15(土) 全6回	総合体育館	18名
	ジュニアホッケーの部	11/20(日)～12/18(日) 全4回	東海高校	8名
	バドミントンの部	11/9(水)～11/30(水) 全6回	総合体育館	11名
トレーニング基礎講座		通年(隔月実施) 全6回	総合体育館	計34名
スポーツクライミング普及事業		10/23(日)	総合体育館	146名
東海村ホッケークリニック		2/19(日)	東海高校	60名
ニュースポーツ普及事業		5～2月(月1回) 全10回	総合体育館	285名
共催事業	スポーツフェスタTOKAI	10/22(土)・23(日)	東海文化センター 総合体育館 ほか	1,011名
	弓道演武披露会	10/2(日)	総合体育館	81名
	げんでん ふれあいバスケット教室	11/12(土)	総合体育館	62名

収益事業１　公益目的外の事業

（１）文化芸術振興事業以外の施設の貸与

企業の社内会議・研修や文化芸術振興を目的としないホール催事（成人式等）に対する施設の貸し出しを行いました。

（２）駐輪場防犯対策事業

東海駅東西駐輪場について、近年に引き続き東海駅コミュニティ施設管理室を拠点とする防犯カメラの映像監視・録画を行い、犯罪の抑止を図りました。

法人運営

東海村から指定管理を受けた施設の運営にあたり、東海村及び関係機関と連携を図り、組織体制の整備及び業務の円滑な進行に努めました。

１．役員会の開催

項目	開催期日	議案
決算監査	4 月 21 日	令和 3 年度事業報告及び収支決算報告等
第 1 回理事会	4 月 27 日	第 1 号議案　令和 3 年度事業報告、収支決算報告について 第 2 号議案　令和 4 年度定時評議員会の開催について
定時評議員会	5 月 13 日	第 1 号議案　令和 3 年度事業報告、収支決算報告について 第 2 号議案　理事・監事の選任について
第 2 回理事会	5 月 13 日	第 3 号議案　理事長の選出について
中間監査	11 月 25 日	令和 4 年度事業・収支の中間報告等
第 3 回理事会	2 月 17 日	第 4 号議案　令和 5 年度事業計画(案)、収支予算(案)について 第 5 号議案　公益認定法人としての事業内容の変更について 公益認定審議会への提出について 第 6 号議案　令和 5 年度指定管理者年度協定書締結のための各指定管理施設の事業計画書(案)及び補助金申請並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(認定法)第 21 条第 1 項に基づく事業計画書(案)及び収支予算(案)の提出について 第 7 号議案　令和 5 年度予算の債務負担行為の設定について 第 8 号議案　令和 4 年度臨時評議員会の開催について
臨時評議員会	3 月 16 日	第 3 号議案　理事の選任について
第 4 回理事会	3 月 16 日	第 9 号議案　理事長の選定について

２．職員数

令和５年３月 31 日現在

所属	正規	専門員	嘱託・臨時	施設	備考
事務局長	1	-	－	文化センター	芸術振興係長兼務
総務係	2	-	－		
文化振興係	4	1	－		
芸術振興係	1	-	13	駅コミュニティ施設	
スポーツ振興係	4	1	4	総合体育館	
	－	－	8	テニスコート	
合計	12	2	25		

以上